

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 中井 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

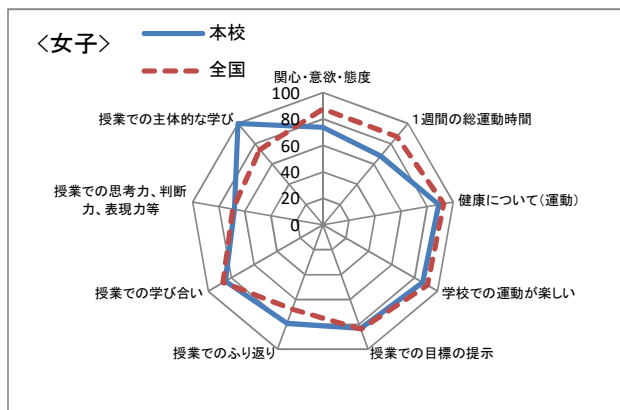
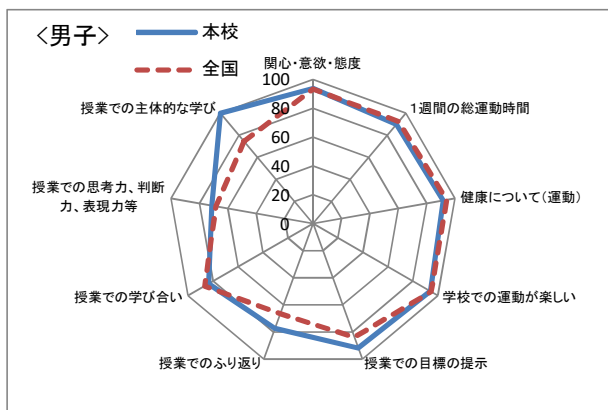
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目	○	○	○			○		○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目	○		○						

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

調査対象児童の全員が運動能力の向上について、自分なりの目標を立てているが、実技調査の結果、男女に共通して俊敏性や持久力に課題があることがわかった。男女とも体育科の学習には主体的に取り組んでいるが、女子は運動に対する関心が低く、運動時間も短い。意欲の高まりが体力の向上に繋がるように指導の工夫を必要とする。体育の授業では、学んだ内容をふり返る活動を行うことで、学習の成果と課題や次の目標をしっかりとって次時の学習に取り組むことができた。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体力に自信をつけ、体を動かすことが楽しみな児童を育成するために、楽しくやる気をもって取り組める学習内容の工夫をする。学習のめあてやねらいを明確にし、振り返りでは、一人ひとりが達成感を味わわせるとともに、次時への課題や目標がもてるようにする。準備運動においても、俊敏性や持久力を高める運動を重点的に取り入れていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

6月に実施する全学年の新体力テストの結果をもとに、体育部を中心に課題となる体力づくりの取組を計画的に実施する。天気の良い休み時間は、外で元気よく遊ぶことを全校で推奨し、体を動かす習慣を付ける。家庭でも放課後や休日に運動の機会が得られるように、懇談会や通信等で啓発を促す。